レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和4年7月26日	使用開始日			
登録診療科	消化器外科	申請医師	小林照之	化学療法委員会承認年月	年　月
レジメン名	オプジーボ＋ヤーボイ併用療法（食道がん）				
疾患名	食道がん	適応の備考			
適応分類	根治切除不能 進行・再発				
1コース日数	42　日間	総コース数		催吐性リスク	最小度
抗がん剤投与量・投与日	オプジーボ 240mg/body day1、day15、day29、ヤーボイ 1mg/kg day1				

治療スケジュール ・ 投 与 日 程（ 投 与 日 は ● ）　(day)

投与順	ルート・方法	薬 剤 名	投 与 量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●														●														●														
	点滴静注		/																																											
2	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●														●														●														
	点滴静注	オプジーボ	240 mg / body	30 分	●														●														●														
			/																																											
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	30 分	●																																									
	点滴静注		/																																											
4	主ルート	生食50mL	0.4 本 / body		●																																									
	点滴静注	ヤーボイ	1 mg / kg	30 分	●																																									
			/																																											
		生食30mL抜く																																												
5	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●														●														●														
	点滴静注		/																																											

【投与上の注意】

オプジーボ：0．22または0．2μmのインラインフィルターを使用して投与する。

オプジーボ：希釈後の総液量は60mL以上を目安とする。体重30kg以上の場合、生食100mL、体重30kg未満の場合、生食50mLに希釈する。

オプジーボ：希釈後の最終濃度0.35mg/mL未満では、点滴溶液中の安定性が確認されていない。

ヤーボイ：0．2～1．2μmのインラインフィルターを使用して投与する。

ヤーボイ：希釈後の最終濃度は1～4mg/mLとする。体重30kg以上の場合生食20mLに希釈する。

【減量基準】

ヤーボイ

・Grade 2の副作用（内分泌障害及び皮膚障害を除く），Grade 3の皮膚障害，症候性の内分泌障害
　処置：Grade 1以下又はベースラインに回復するまで投与を延期する。内分泌障害については，症状が回復するまで投与を延期する。
　上記基準まで回復しない場合は，投与を中止する。

・Grade 3以上の副作用（内分泌障害及び皮膚障害を除く），局所的な免疫抑制療法が有効でないGrade 2以上の眼障害，Grade 4の皮膚障害
　処置：投与を中止する。